

<天から来た権威>

マルコ11:27~33



イエスさまに詰め寄る祭司長たち



ヨルダン川で洗礼を受けるヨハネ

質問をするその目的は何か？

分からないから教えて欲しい / 相手の考えや人物像を知るため / etc

祭司長・律法学者・長老たちがイエスに質問をした。

「何の権威によって、これらのことをしておられるのですか。

だれが、あなたにこれらのことをする権威を授けたのですか。」【28節】

* 「権威」 authority (ギリシャ語 ἐξουσία・エクスシーア) …人を従わせる権利と力

宮きよめの一件への抗議？！

祭司長達が許可した商売人や両替商たちを、イエスさまが勝手に宮から追い出した。

自分達の権威に盾突いた！ 自分達の利益を損なった！

◆ 純粹に神を礼拝することより、自分の利益に関心が傾いていた宗教指導者達。
真理に面と向き合おうとしない人は、自分を無力にする。罪やしがらみに縛られ
不自由な生き方しかできない。イエス様に詰め寄った宗教指導者達がそうだった。

「もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。
そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」 8:31, 32

祭司長達の最大の問題は、真理を求めるより自分の地位の安泰を望んだこと。

イエスさま 「一言尋ねますから、それに答えなさい。そうすれば、わたしも、何の権威によってこれらのことをしているかを、話しましょう。ヨハネのバプテスマは、天から来たのです、人から出たのですか。答えなさい。」

天から来た・・・神から派遣された / 人から出た・・・人間的権威による行動

【ヨハネ】

バプテスマのヨハネ。マルコ 1 章に登場。 荒野で叫ぶ者の声。
罪の赦しのために悔い改めを迫り、ヨルダン川で洗礼を受けていた人。

すると、彼らは、こう言いながら、互いに論じ合った。「もし、天から、と言えば、それならなぜ、彼を信じなかったかと言うだろう。だからといって、人からと言って良いだろうか。」—彼らは群集を恐れていたのである。というのは、人々がみな、ヨハネは確かに預言者だと思っていたからである。【31, 32節】

人からと答えれば、民衆の支持を失うことになる。それは困る。答えられない！
人を恐れるとわなにかかる。しかし主に信頼する者は守られる。 箴言 29 : 25

祭司長たち 「わかりません」

イエスさま 「わたしも何の権威によってこれらのことをするのか、あなたがたに話すまい。」

- ◆ 「わかりません」という返答。これは彼らが、本当の真理を求めてはいなかったことを露呈した。

「ヨハネのバプテスマは、天から来たのか、人から出たのか。答えなさい。」

- ・ 答えにくい質問。しかし同時に、彼らが悔い改めるチャンスでもあった。

「わたしも、何の権威によってこれらのことをするのか、あなたがたに話すまい」

- ・ 彼らが真実を知ろうとしているのではなく、自己保全しか考えていないことが明白になったから。
- ・ 後は、彼らの判断に任せた。自由意思を尊重した上で悔い改めの余地を残した。

- ◆ 忍耐をもってご自分の元へ立ち返るのを待っておられるイエスさま。

ここに神の愛がある。徹底して「赦し」の機会を与え続けた。その愛は今も続く。